



2014年(平成26年)10月期

決算説明会資料

株式会社オービス

代表取締役社長 なかはま ゆうじ
中浜 勇治

(東京証券取引所(ジャスダック市場)、証券コード:7827)

2014年12月19日

●目次

PART1 会社の概要	3	PART3 市場環境と今後の取組み	16
●プロフィール	4	●木材事業の市場環境 ①	17
●経営理念・沿革	5	●木材事業の市場環境 ②	18
		●木材事業:今後の取組み	19
PART2 2014年10月期の連結業績	6	●ハウス・エコ事業の市場環境①	20
1. 連結損益計算書	7	●ハウス・エコ事業の市場環境②	21
2. 売上高・当期純利益の増減要因	8	●ハウス・エコ事業:今後の取組み	22
3. セグメント業績		●アミューズメント事業の市場環境と 今後の取組み	23
●木材事業	9		
●ハウス・エコ事業	12	PART4 2015年10月期の業績予想	24
●アミューズメント事業	13	1. 連結業績予想(通期)	25
●不動産事業	14	2. 第2四半期連結累計期間 業績予想	26
4. 連結貸借対照表及び連結キャッシュ・ フロー計算書	15	3. 業績予想の要旨	27
		4. 予想配当	28
		PART5 中期計画の概要	29
		●連結売上高	30
		●連結経常利益及び連結当期純利益	31
		●本資料お取扱上のご注意・IR担当窓口	32

PART1

会社の概要



ニュージーランドの松林(写真提供:住友林業株式会社)

ニュージーランド松製材の国内最大手

当社グループは、木材、ハウス・エコ、アミューズメント、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、ニュージーランド松(ラジアータパイン)製材の国内最大手の評価を頂いております。

会社名	株式会社オービス
設立	昭和34年11月
代表取締役社長	中浜 勇治(なかはま ゆうじ)
資本金	6億8,498万円
従業員数	178人(2014年10月末現在)
連結売上高	92億円(2014年10月期末)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築の請負、太陽光発電システムの施工・販売、カラオケハウス及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0105 広島県福山市南松永町四丁目1番48号
連結子会社	株式会社パル

●社名の由来●



当社社名の「オービス(ORVIS)」とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております。

経営理念

顧客満足・社員満足

当社グループの経営理念「顧客満足・社員満足」は、「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様にも利益を還元していく」という意味をあらわしております。

■ 当社グループの主要な沿革

昭和34年11月	有限会社中浜材木店を設立	平成 4年 4月	株式会社オービスに商号変更
昭和37年 5月	広島県世羅郡世羅西町(現世羅町)に製材工場を建設	平成12年12月	パナマにTUI MARITIME S.A.を設立(平成26年9月解散)
昭和43年 3月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	平成14年 8月	木材運搬船「グリーンホープ」(最大積載量35,000トン)完成、航海開始(H26.5売却)
昭和46年 6月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	平成14年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、営業開始
昭和49年 9月	有限会社中浜材木店を組織変更し、中浜材木株式会社を設立	平成15年 5月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、不動産賃貸開始
昭和62年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、不動産賃貸開始	平成18年9月	ジャスダック証券取引所に上場(現東京証券取引所JASDAQ市場)
平成元年 4月	カラオケハウスの製造販売開始	平成20年8月	木材事業姫路工場稼働開始(H26.4停止)
平成元年10月	広島市安佐北区にカラオケハウス1号店を開店	平成22年2月	太陽光発電パネル等の施工・販売の開始

PART2

2014年10月期の連結業績

1. 連結損益計算書

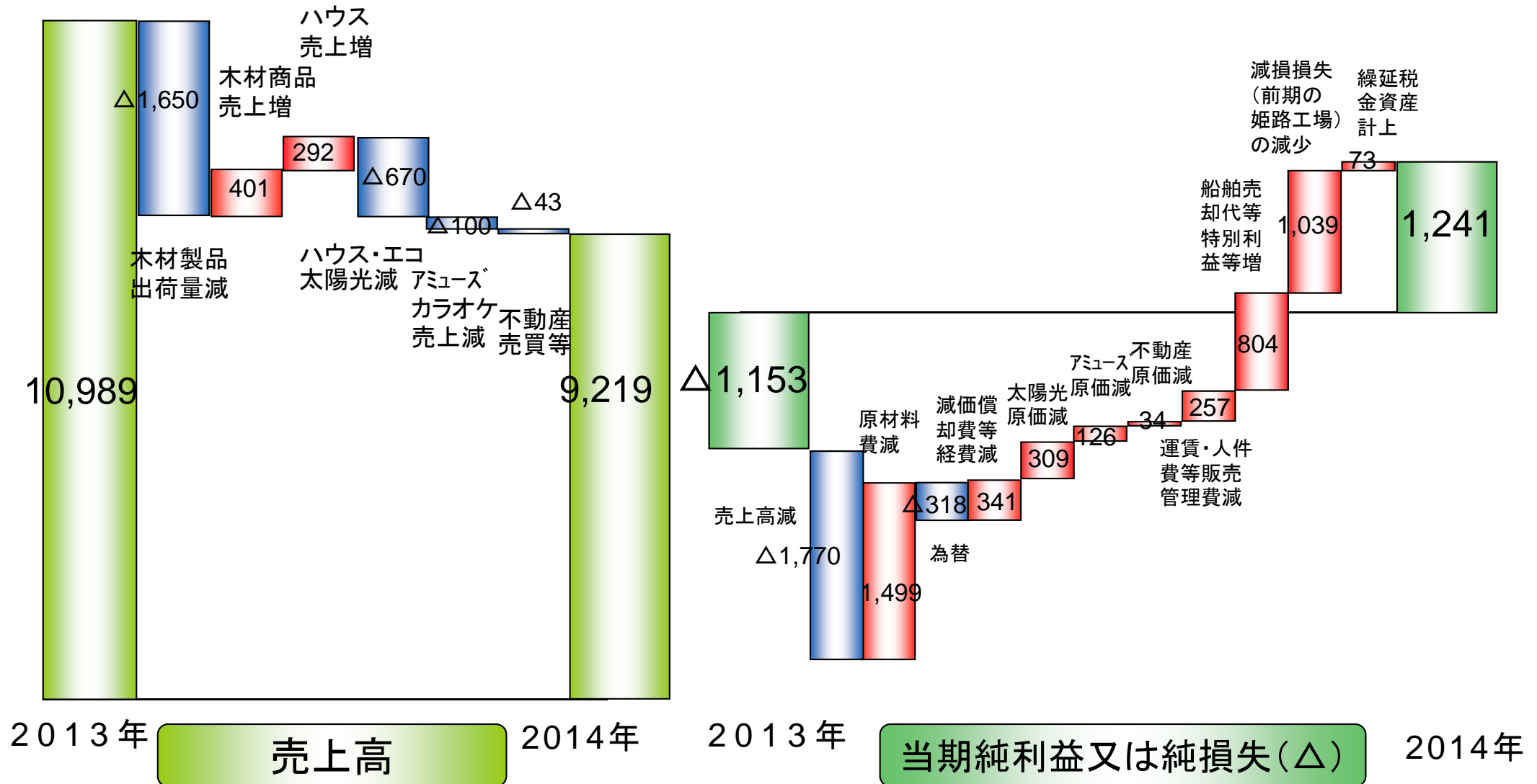
(単位:百万円)

	2013年	百分比	2014年 業績予想 (9月修正)	2014年	百分比	前期比	業 績 予想比
売 上 高	10,989	100.0%	9,132	9,219	100.0%	83.9%	100.9%
売上総利益	1,302	11.9%	1,497	1,522	16.5%	116.9%	101.7%
販売費及び 一般管理費	1,285	11.7%	1,024	1,029	11.2%	80.1%	100.5%
営業利益	16	0.2%	473	493	5.3%	2976.9%	104.2%
経常利益又は 経常損失(△)	△58	—	369	409	4.4%	—	110.9%
当期純利益又は 当期純損失(△)	△1,153	—	1,131	1,241	13.5%	—	109.8%
1株当たり当期純利益 又は当期純損失(△)	△666.22円	—	653.44円	717.20円	—	—	—

- 木材事業の姫路工場の閉鎖により売上高は減少するも、製品の需給バランスが改善され製品価格が上昇、利益体質へ。
- 木材専用運搬船の売却により、特別利益6億63百万円を計上。

2. 売上高・当期純利益の増減要因

(単位:百万円)



3. セグメント業績

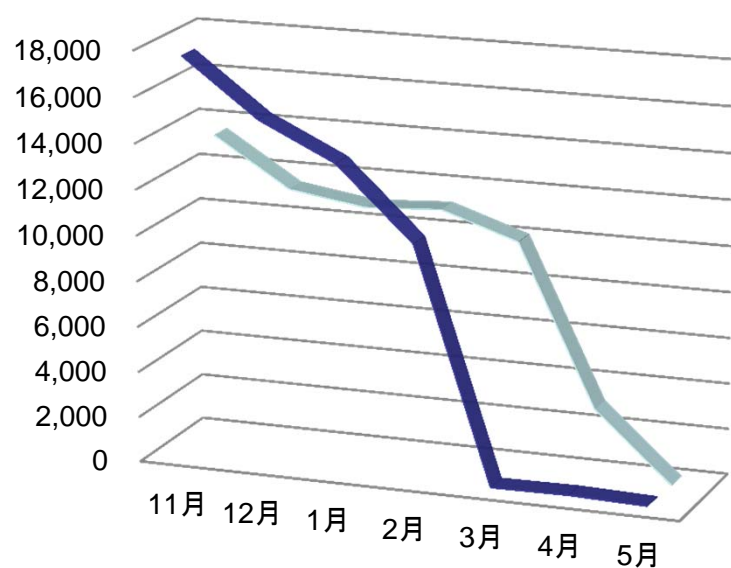
● 木材事業

■ 姫路工場の製造ラインを停止し、競争力のある本社工場へ生産を集約

● 姫路工場

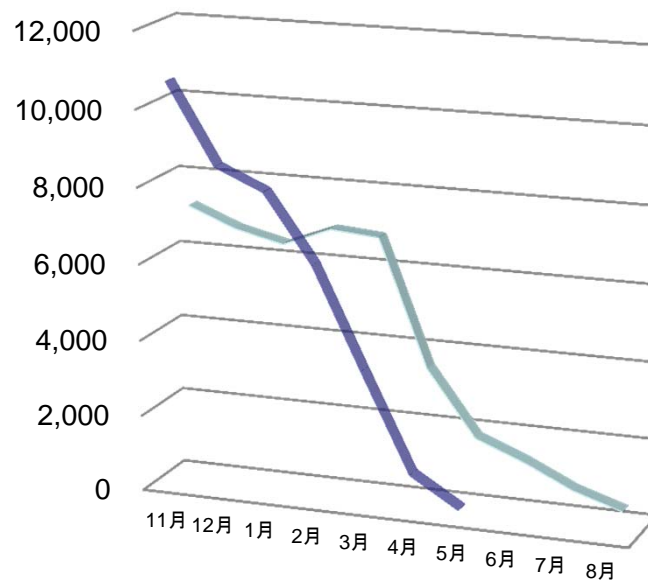
生産を当初見込みより前倒しで行い、2月末でラインを停止。
製品在庫を、年度末の需要期に合わせ適正価格にて販売。

原木消化量(m³)



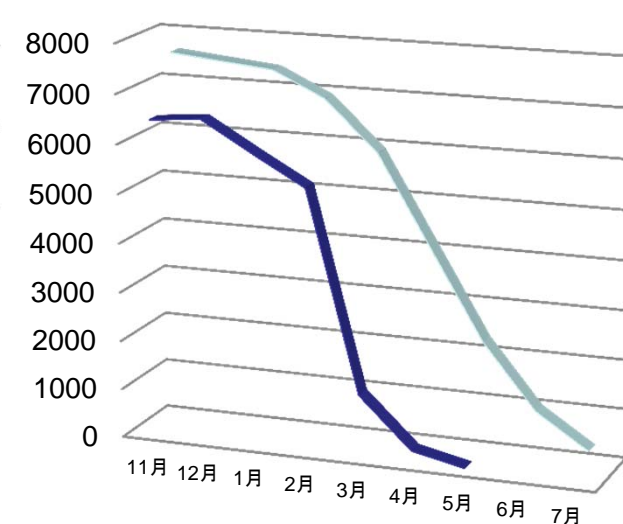
■ 姫路工場 実績 ■ 姫路工場 予算

製品販売量(m³)



■ 姫路工場実績 ■ 姫路工場予算

姫路工場製品在庫(m³)



■ 在庫実績 ■ 在庫予算

■ 姫路工場の製造ラインを停止し、競争力のある本社工場へ生産を集約

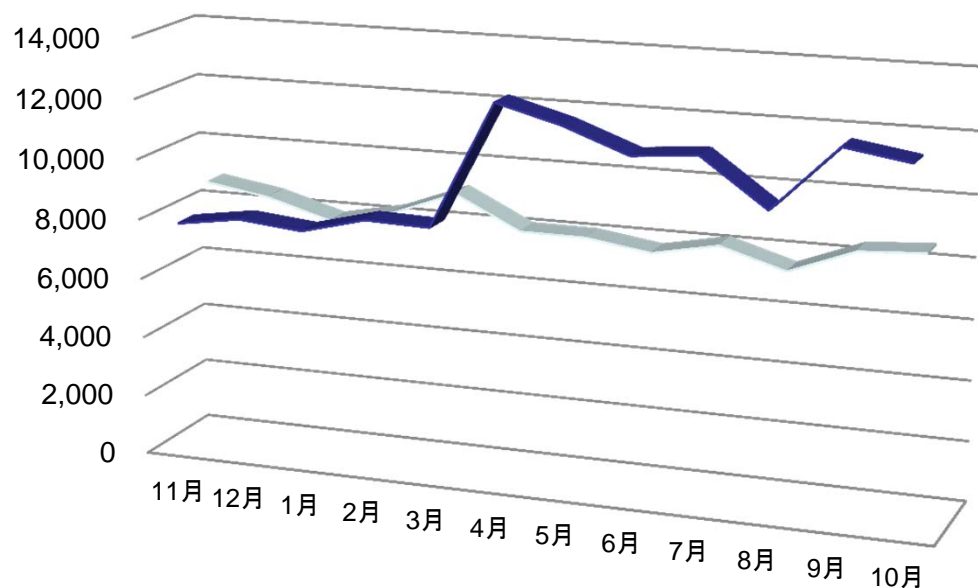
● 本社工場の状況

生産設備を改修し、4月より夜間の操業を開始し増産。

本社工場の原木消化量 122千m³(前期比124.3%)

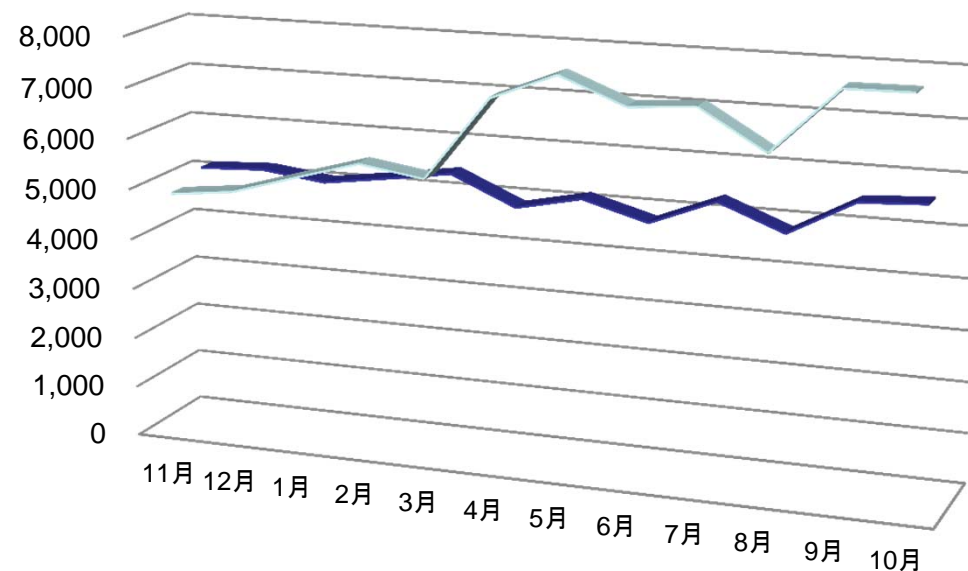
〃 製品販売量 79千m³(前期比127.2%)

原木消化量(m³)



■ 2014年 ■ 2013年

製品販売量(m³)



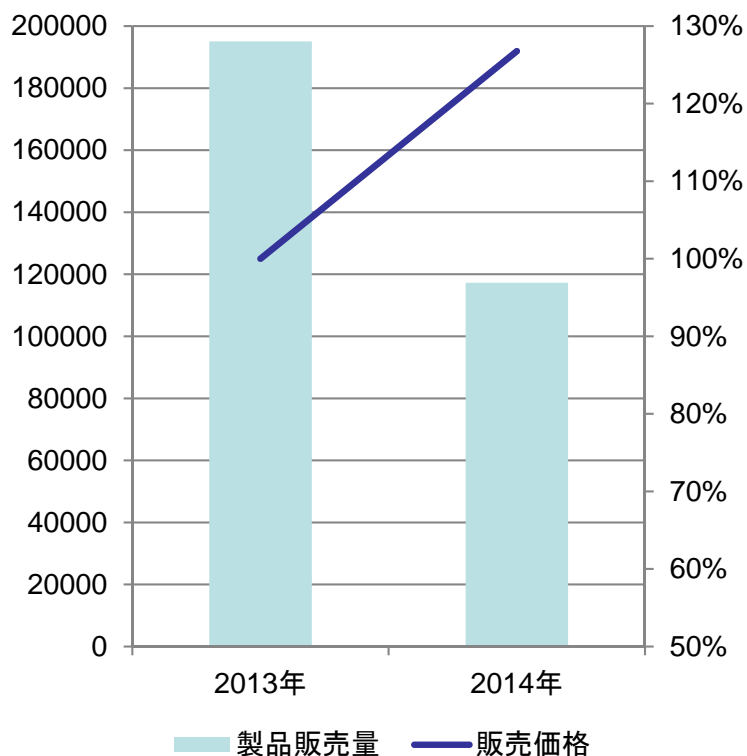
■ 2014年 ■ 2013年

● 木材事業まとめ

- 製品販売量 年間合計117千m³(前期比60.1%)
- 製品販売価格 年間平均前期比126.8%
- 原木単価 年間平均前期比121.9%

姫路工場の閉鎖による製品販売量は減少するも、需給バランスの改善により、販売価格が上昇。木材事業は営業黒字化。

全社製品販売量(m³)と販売価格(%)
(前期比)



■ 木材事業の業績

(単位:百万円)

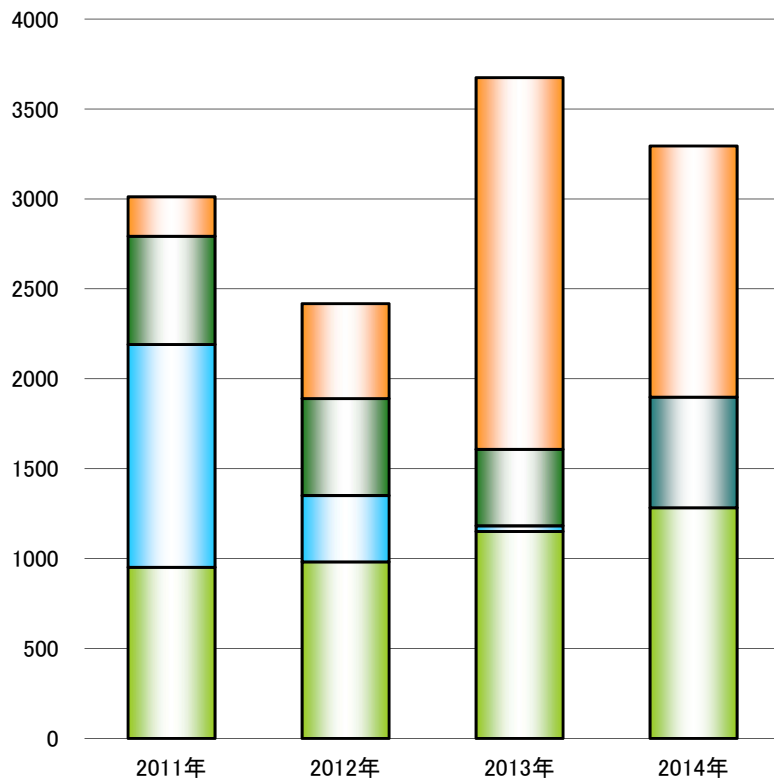
	2013年 実績	百分比	2014年 実績	百分比	前期比
売上高	6,425	100.0%	5,176	100.0%	80.6%
営業費用	6,683	104.0%	4,894	94.5%	73.2%
営業利益又は 営業損失(△)	△258	—	282	5.5%	—
平均為替 レート(円)	89.2	—	104.1	—	116.7%

● ハウス・エコ事業

- FIT2年目の反動減により太陽光発電システムの売上高は13億97百万円(前期比32.4%減)。
- 建設需要の増加でハウスの販売物件(前期比8.5%増)、賃貸物件(同比44.6%増)ともに売上増加。

■ ハウス、太陽光売上の推移

(百万円)



□ハウス一般販売 □ハウス仮設住宅
 □ハウス賃貸 □太陽光

■ ハウス・エコ事業の業績

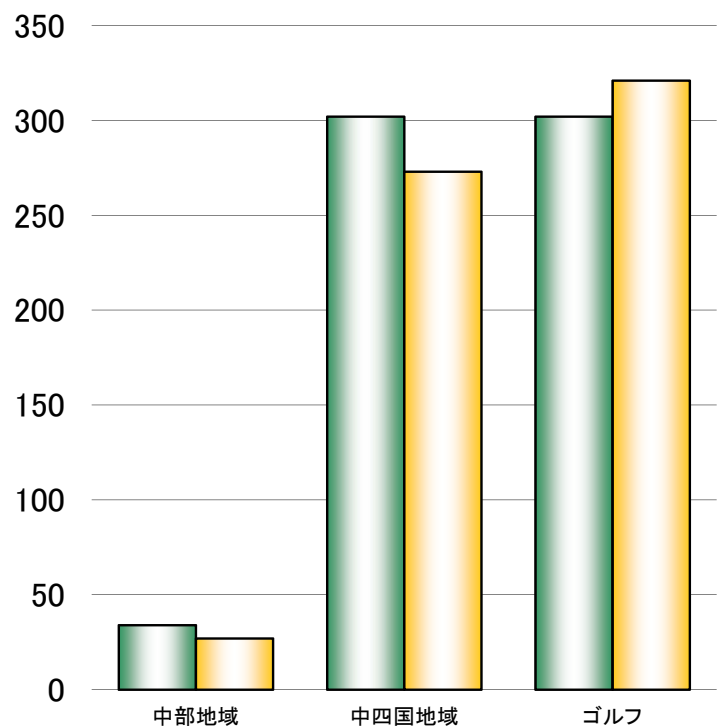
(単位:百万円)

	2013年 実績	百分比	2014年 実績	百分比	前期比
売上高	3,675	100.0%	3,296	100.0%	89.7%
営業費用	3,303	89.9%	3,026	91.8%	91.6%
営業利益	371	10.1%	269	8.2%	72.5%

● アミューズメント事業

- カラオケ事業の売上高は後楽園店等の営業譲渡により減少(前期比73.4%)、ゴルフ場は天候に恵まれ増加(同比106.0%)
- ゴルフ場の売上の増加により営業利益が増加。

■ 地域別カラオケ店舗既存店・ゴルフ場売上
前期比(百万円)



□ 2013年 □ 2014年

■ アミューズメント事業の業績

(単位:百万円)

	2013年 実績	百分比	2014年 実績	百分比	前期比
売上高	747	100.0%	647	100.0%	86.6%
営業費用	729	97.6%	601	92.9%	82.4%
営業利益	18	2.4%	46	7.1%	256.1%

● 不動産事業

- 売買物件の減少(4件→1件)及び賃貸物件売上微減(前期比95.5%)により減収。
- 売買物件の減少により営業利益は減少したが、利益率は上昇。

■ 不動産事業の業績

(単位:百万円)

	2013年 実績	百分比	2014年 実績	百分比	前期比
売上高	141	100.0%	98	100.0%	69.5%
営業費用	81	57.5%	46	47.7%	57.6%
営業利益	60	42.5%	51	52.3%	85.5%

4. 連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書

■ 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

(百万円)	2013年	構成比	2014年	構成比	増減	主な要因
流動資産	5,462	57.8%	4,545	59.0%	△917	現金及び預金、売上債権、たな卸資産の減少、前渡金、繰延税金資産の増加等
固定資産	3,982	42.2%	3,157	41.0%	△825	船舶の売却による資産の減少等
資産合計	9,445	100.0%	7,702	100.0%	△1,742	
流動負債	4,388	46.5%	2,872	37.3%	△1,516	仕入債務、一年内返済予定の長期借入金、短期借入金の減少
固定負債	4,778	50.6%	3,300	42.8%	△1,478	資産除去債務、長期借入金の減少
負債合計	9,167	97.1%	6,172	80.1%	△2,994	
純資産	278	2.9%	1,529	19.9%	1,251	船舶の売却による特別利益等による利益剰余金の増加
負債及び純資産合計	9,445	100.0%	7,702	100.0%	△1,742	

■ 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2013年	2014年	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	813	1,132	売上債権、棚卸資産の減少等
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137	1,229	有形固定資産の売却による収入の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△288	△2,631	短期借入金の減少、長期借入金の返済による支出の増加
現金及び現金同等物の期末残高	943	673	

自己資本比率
 2.9% 19.9%
 有利子負債比率
 73.0% 55.9%

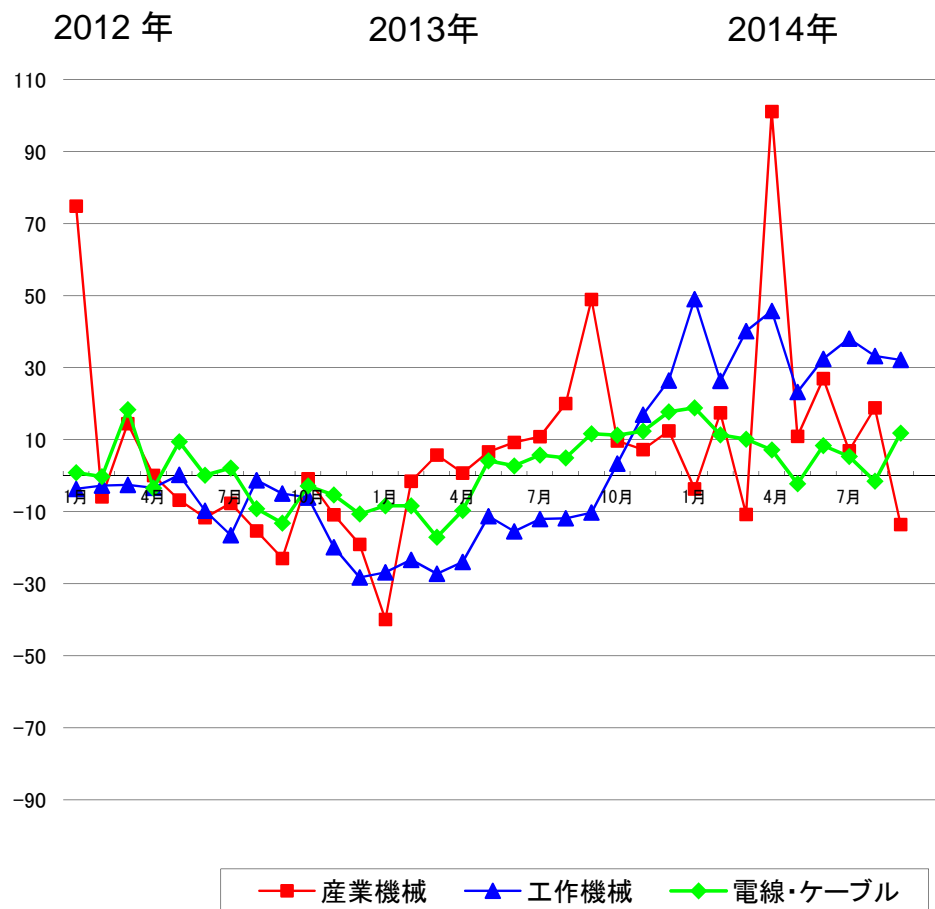
PART3

市場環境と今後の取組み

● 木材事業の市場環境 ①～梱包用材のエンドユーザーの環境

■ 産業機械及び工作機械、電線等の受注状況

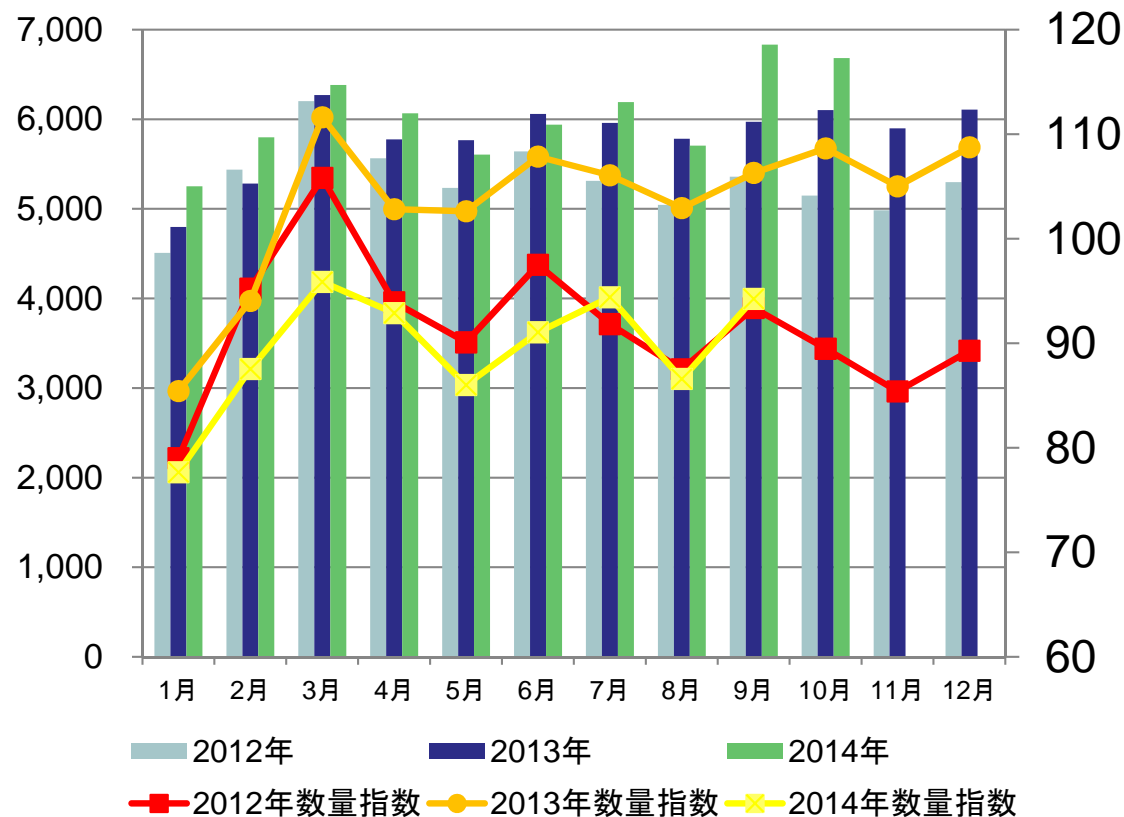
内閣府経済社会総合研究所 機械受注統計調査
前年同月比 (%)



■ 輸出の状況

財務省 貿易統計

(十億円)



輸出金額及び輸出数量

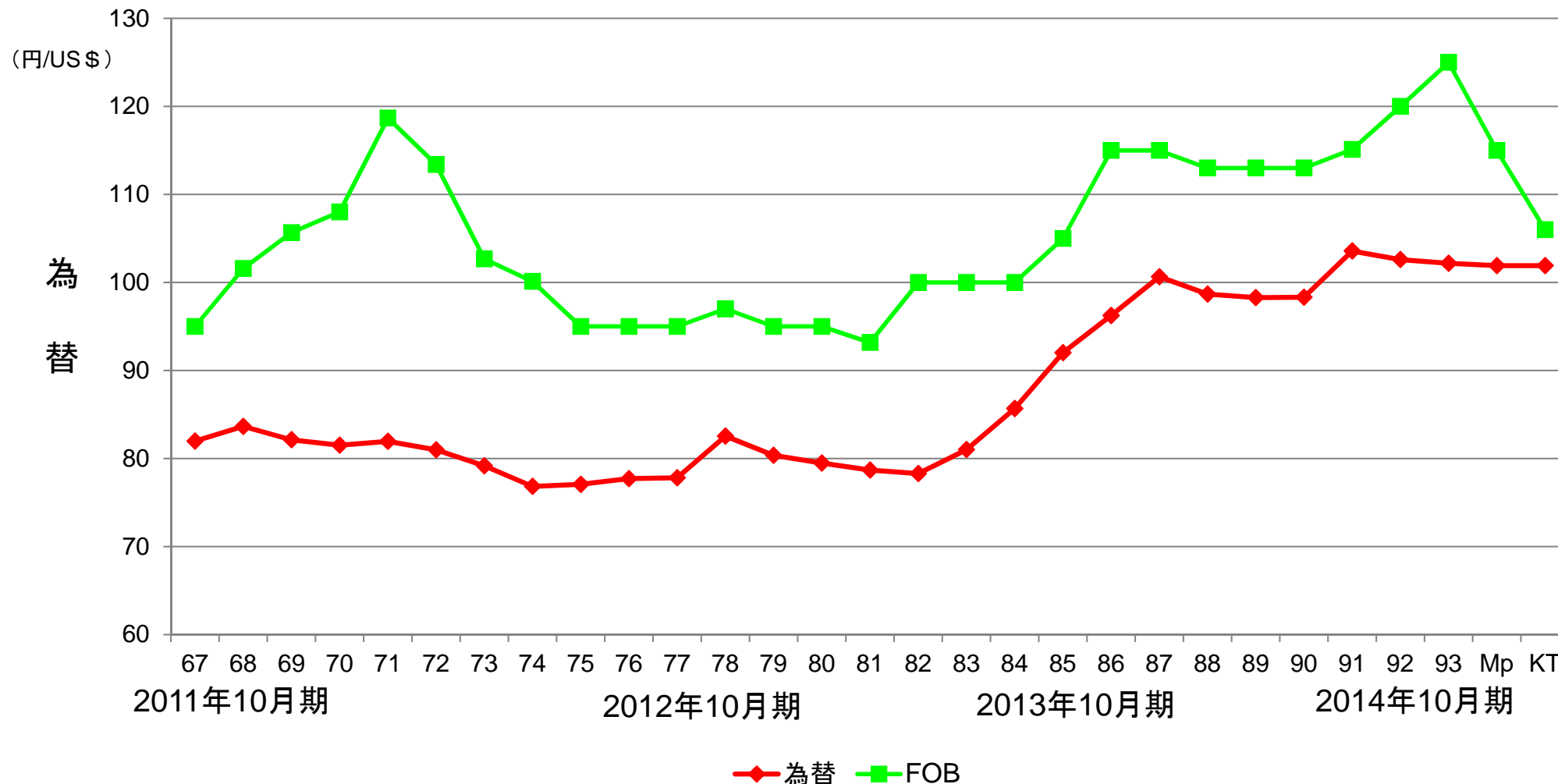
※輸出数量指数は2010年を100とした数値。

● 産業機械・工作機械等の受注は回復傾向、輸出数量は回復見られず。

● 木材事業の市場環境 ②～原材料仕入コストの環境

■ 為替・FOBの推移

■ 為替は、各航海の平均為替レートを表示しております。(右軸)
 ■ FOBは、推移の動向を表示しており、実際の金額は公表しておりません。



● 為替は円安が続く、FOBは中国の減速で直近で下げ基調。

※FOBとは、原木を船に積み込んで引き渡すまでの価格のことをいいます。

● 木材事業：今後の取組み

■ 出荷量 89,340m³(前期比76.2%)、適正価格による販売(前期比104.9%)

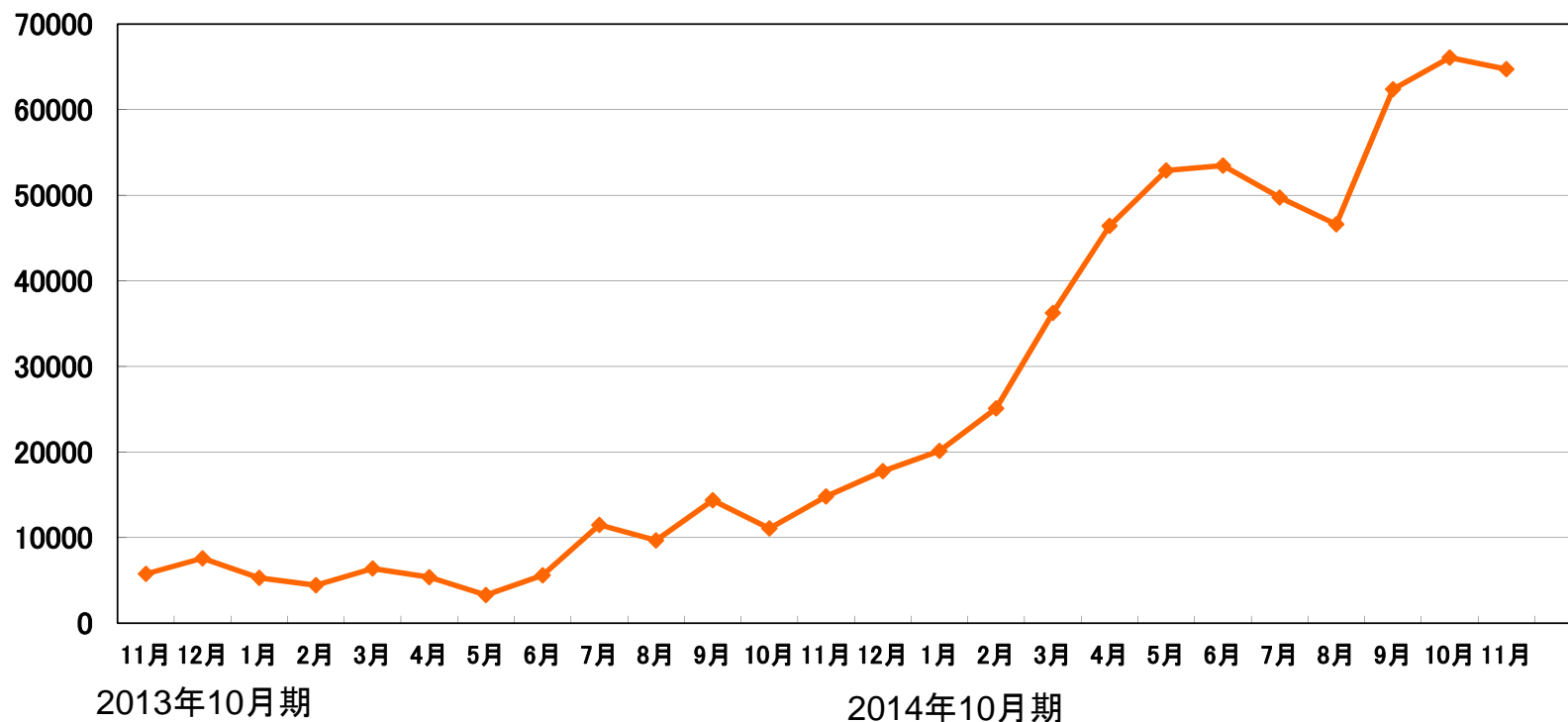
● 本社工場で生産するニュージーランド材を適正価格で販売。
(月間原木消化11,500m³、月間製品出荷7,500m³)

■ 国産材(杉、ひのき、北海道カラマツ)、外材、LVL等商品の拡販

● 既存の販売ルートを活用しニュージーランド材以外の商品を販売。

商品売上高の推移(千円)

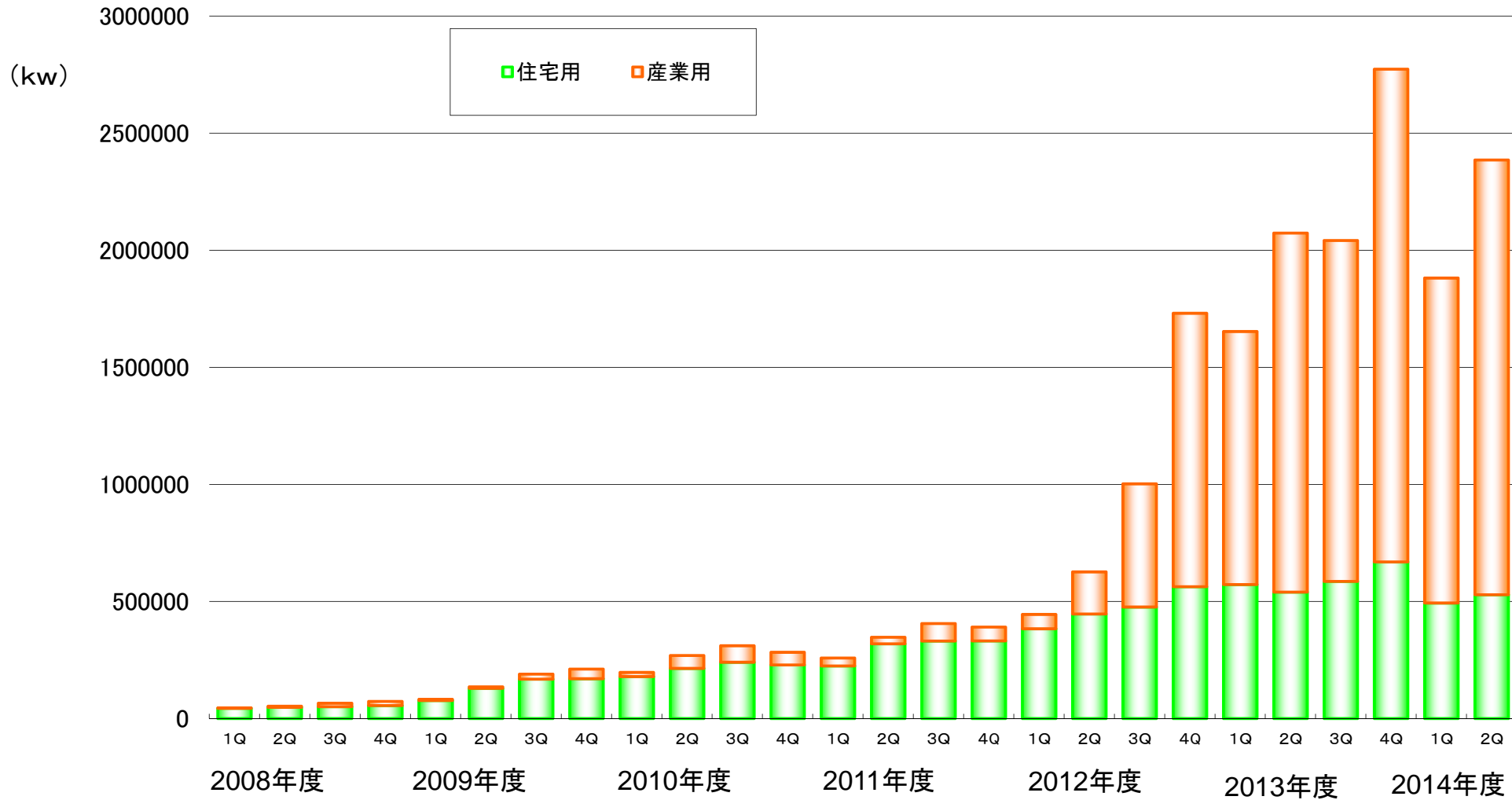
◆ 売上高(千円)



●ハウス・エコ事業の市場環境①

■日本における四半期ごとの太陽電池出荷量の推移(国内向)

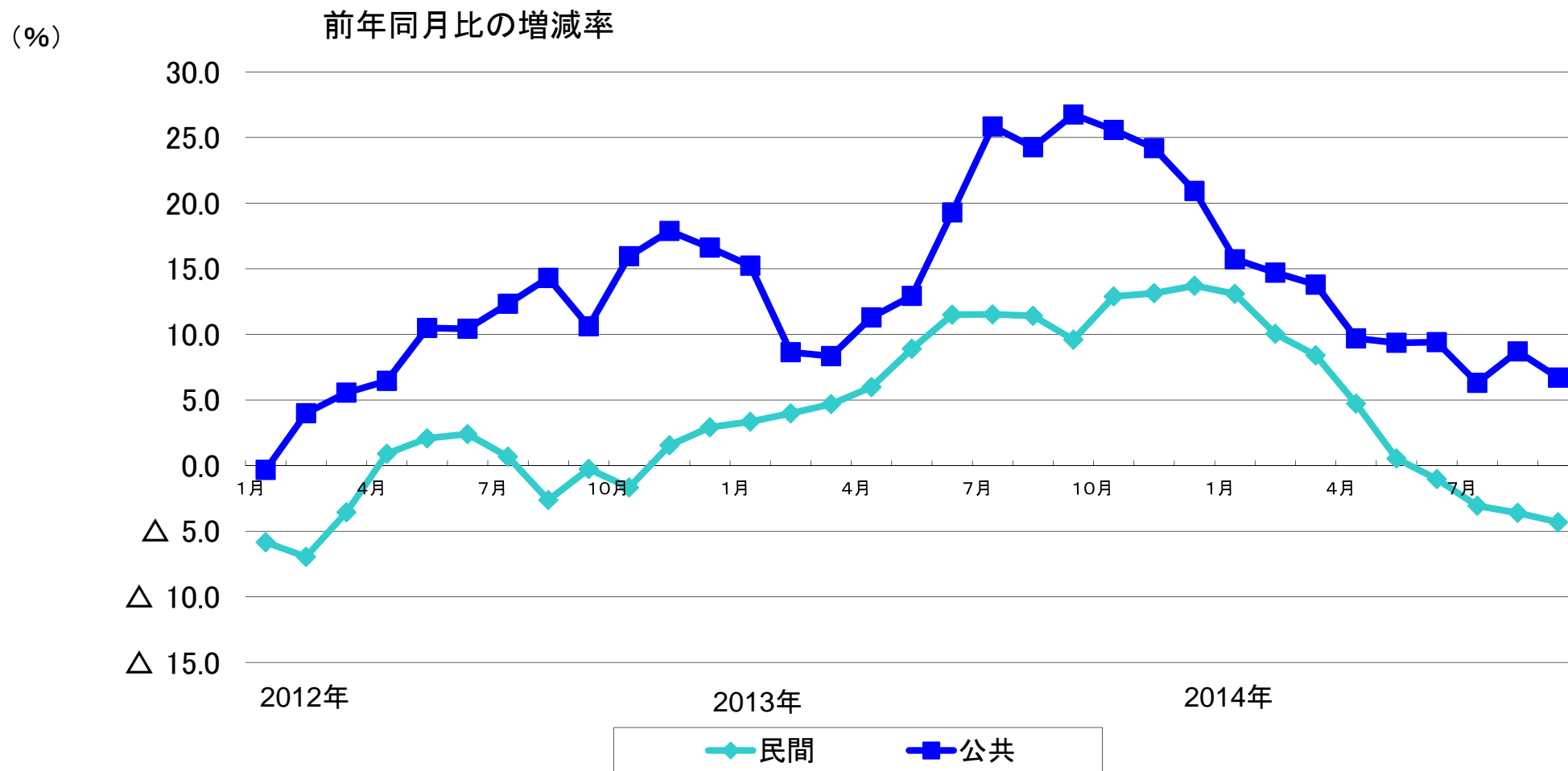
太陽光発電協会調べ



●太陽光発電の出荷量は2014年1Q、2Qともに前年同四半期を上回った。

●ハウス・エコ事業の市場環境②

■建設総合統計(出来高ベース) 国土交通省



●建設需要は、2014年4月消費税増税以降、民間の落ち込みが大きい。

●ハウス・エコ事業：今後の取組み

■再生エネルギー政策の転換に合わせて提案・受注を取り込む。

●年度末までの設備認定済みを中心とした大型案件や50kW以下の低圧案件の取り込み。

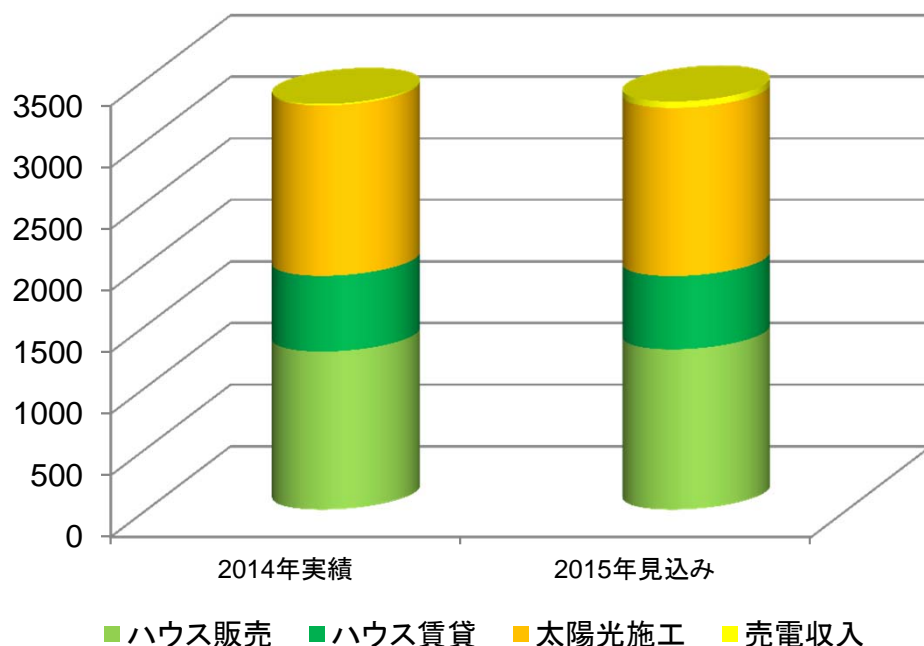
●アフターサービスや関連機器等の周辺事業、エネルギー事業への取組み。

■堅調な建設需要を取り込む。

●学校の耐震改修のための仮設校舎等や放課後児童クラブ等の公共工事や民間の設備投資などプレハブハウスの受注を取り込む。

●営業、現場管理の人員の増強、組織の若返り。

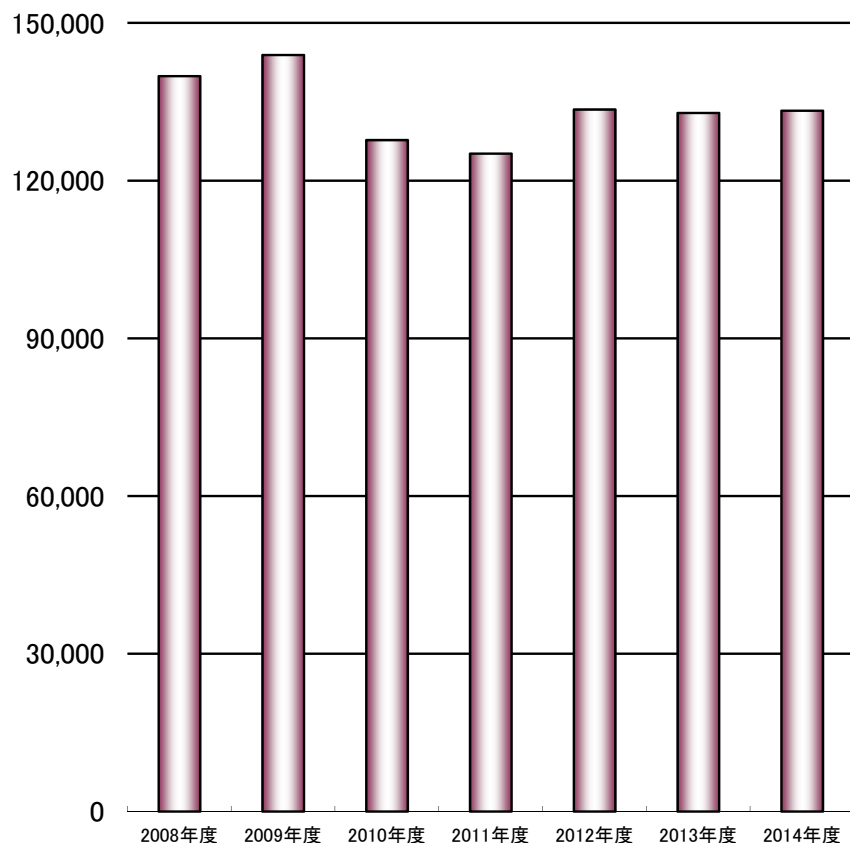
■ハウス、太陽光売上の見込み（百万円）



当社施工のメガソーラー（広島県三原市）

●アミューズメント事業の市場環境と今後の取組み

■カラオケ上場5社売上高推移 (百万円)



上場しているカラオケ5社(シダックス、第一興商、AOKIホールディングス、鉄人化計画、コシダカ)の決算短信をもとに、カラオケ事業の売上高の合計を掲載しております。

●アミューズメント事業:今後の取組み

■カラオケ事業の縮小

- 5店舗を営業譲渡し、事業縮小へ。
- ゴルフ場は継続。

●カラオケ大手チェーン店の売上高は1社を除き増加、大手の出店競争が加速。

●カラオケは縮小し、撤退を視野にいれて検討。

PART4

2015年10月期の業績予想

1. 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	2014年	百分比	2015年	百分比	前期比
売上高	9,219	100.0%	7,839	100.0%	85.0%
売上総利益	1,522	16.5%	1,330	17.0%	87.4%
販売費及び一般管理費	1,029	11.2%	1,050	13.4%	102.1%
営業利益	493	5.3%	280	3.6%	56.8%
経常利益	409	4.4%	244	3.1%	59.8%
当期純利益	1,241	13.5%	222	2.8%	17.9%
1株当たり当期純利益	717.20円	—	128.44円	—	—

- 木材事業の出荷量減少により減収も、本社工場の安定操業により利益を確保。
- 人材の確保と育成、福利厚生の充実等のために労務費や販管費を増額。

2. 第2四半期連結累計期間 業績予想

(単位:百万円)

	2014年 第2四半期	百分比	2015年 第2四半期	百分比	前期比
売上高	4,862	100.0%	3,702	100.0%	76.2%
売上総利益	679	14.0%	652	17.6%	96.1%
販売費及び一般管理費	564	11.6%	506	13.7%	89.8%
営業利益	115	2.4%	146	4.0%	127.0%
経常利益	71	1.5%	134	3.6%	188.2%
四半期純利益	154	3.2%	89	2.4%	58.1%

●第3四半期以降に、ハウスの賃貸案件と大型の太陽光発電を見込むため、下半期型。

3. 業績予想の要旨

- ◆ 木材事業の本社工場の2シフト安定操業で利益確保。
商品販売で販売ルートの確保と利益増。
- ◆ 為替レートは1ドル112円を想定
- ◆ 太陽光発電システムの認定済み案件と低圧案件の取り込み
(売上見込13億)とプレハブハウス需要の増加で増収・増益
- ◆ アミューズメント事業のカラオケ縮小に伴う減収
- ◆ 人員の確保と育成、福利厚生の充実等、販売管理費を増額

4. 予想配当

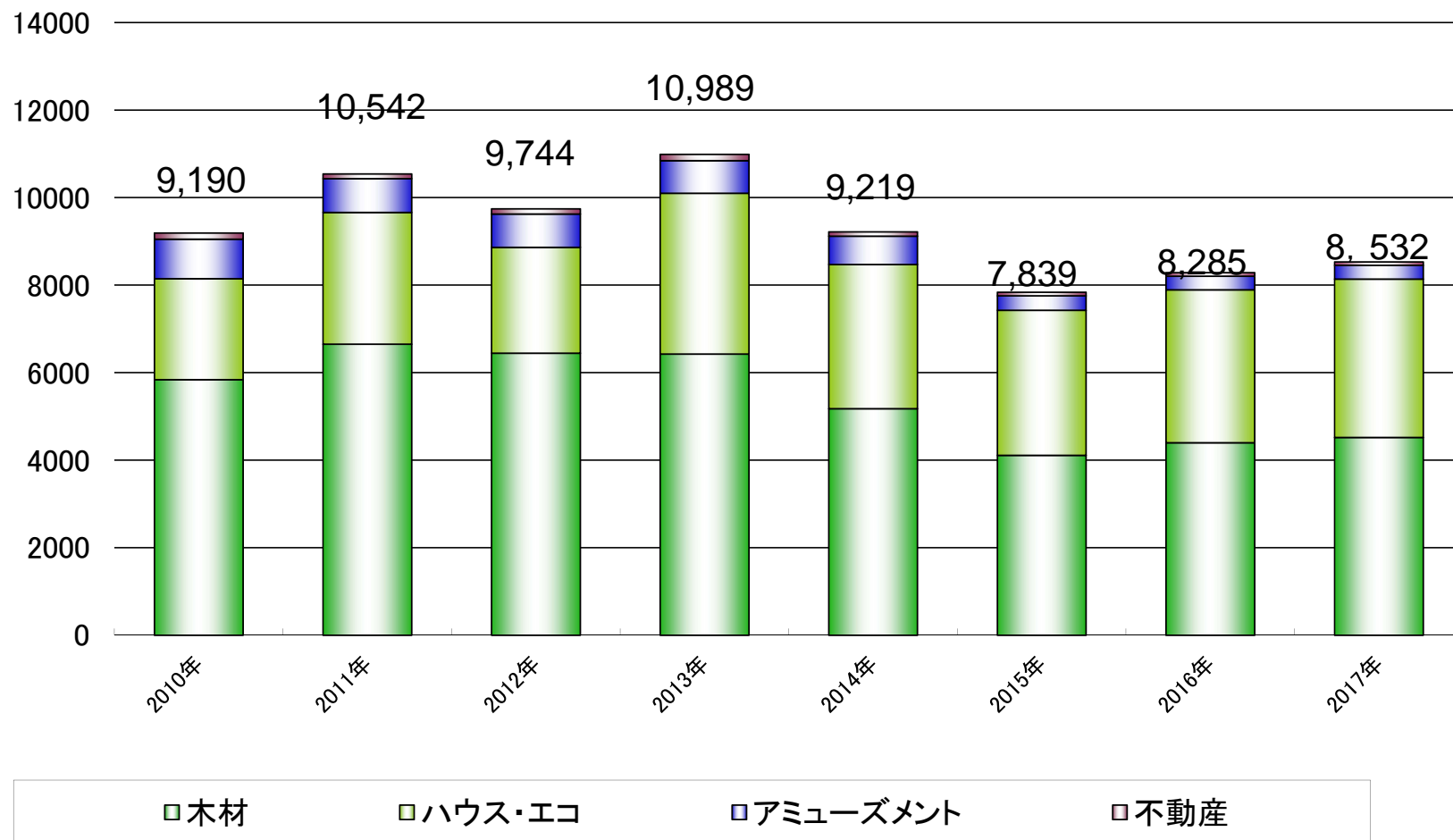
	期末配当	配当性向
2014年 10月期	10円	1.4%
2015年 10月期	10円	7.8%

PART5

中期計画の概要

● 連結売上高

(百万円)



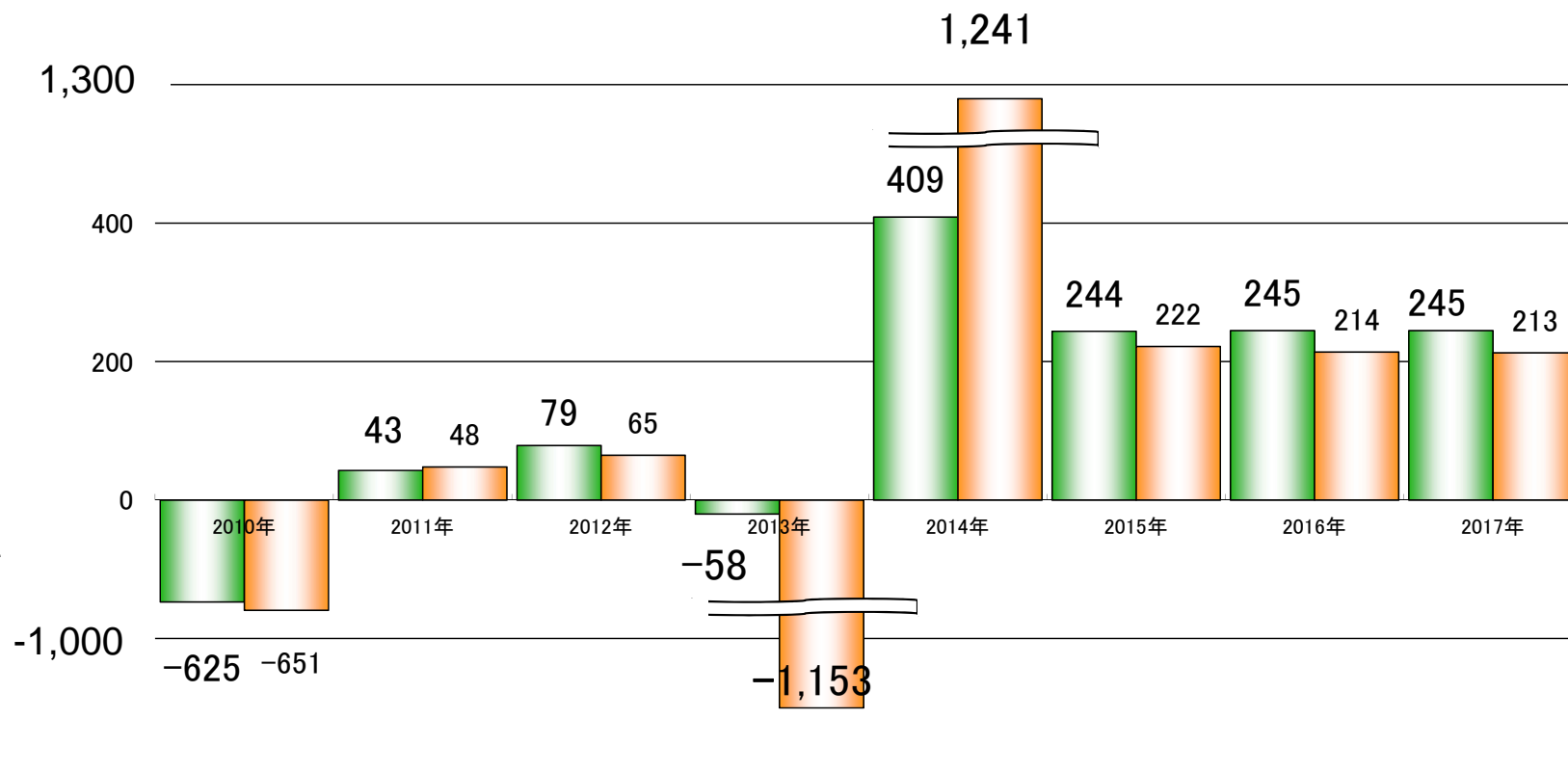
木材事業は、本社工場の生産分を安定販売し、商品販売の増加により増収。
 ハウス・エコ事業は、自社の売電収入の増加(2016年以降年間1億70百万円)と堅調な建設需要を取り込みにより増収。

● 連結経常利益及び連結当期純利益

(百万円)

□ 連結経常利益

□ 連結当期純利益



- ・ 木材事業は本社工場の生産分と商品販売で安定的に利益を確保。
- ・ 中期3年間で約40名の人員を採用、若返りを図るため採用コストや人件費等の増加を見込む。

●本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

●IR担当窓口



株式会社 オービス 総務部 中奥 淳史

Tel. 084-934-2621(代)

Fax. 084-934-2624

E-mail: ir@orvis.co.jp

URL: <http://www.orvis.co.jp>